

令和5年

1月13日(金) — 2月1日(水)

観覧無料

第22回

# 篆刻展

てんこく



講座「篆刻教室」の受講生と「常心篆会」の会員による作品発表会です。

講師の宮本瑞邦先生ご指導のもと、楽しみながら篆刻に親しむ私たちです。

会場：高松市香南歴史民俗郷土館

香川県高松市香南町由佐253番地1

開館時間：午前9時〜午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日 (月曜日が祝休日の場合は翌平日)

## 『得兔忘蹄』 宮本瑞邦刻

読み とをえてていをわする  
意味 兔を捕えてしまえば蹄(畏)は不要である。  
転じて、学問が成就すれば書物は不要になるが、  
学者にとって専門の書物を棄てる者はいないであらう。



第21回の展示作品

てんしょ  
関連講座①「篆書を書いてみよう」

印章に用いられている篆書を筆で色紙に書いてみませんか。

日時：1月21日（土）午後1時30分から3時まで

場所：高松市香南歴史民俗郷土館 第1研修室

講師：穴田 桂泉 氏（書道家・元高松市歴史資料館館長）

持ち物：筆、墨、硯、半紙、下敷（色紙は当館で用意します）

参加費：200円

定員：先着10名

申込み：1月20日（金）までに香南歴史民俗郷土館へ



穴田 桂泉 書

てんこく  
関連講座②「はじめての篆刻 石に刻もう」

印刀を使い、石に文字を刻みます。味わい深い印を自分でつくってみませんか。

日時：1月22日（日）午後1時30分から3時30分まで

場所：高松市香南歴史民俗郷土館 第1研修室

講師：宮本 瑞邦 氏（日本篆刻家協会常任委員）

持ち物：小筆2本、墨（黒・朱墨）、硯2面

参加費：500円

定員：先着8名

申込み：1月20日（金）までに香南歴史民俗郷土館へ

（印材（石）・印刀は当館で用意します。彫りたい漢字1字を事前にお決めください。）



宮本 瑞邦 刻

高松市香南歴史民俗郷土館

香川県高松市香南町由佐253番地1 電話：087-879-0717

新型コロナウイルスの感染症の状況により、会期及び内容等が変更になる場合があります。

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に御協力ください。

御来館前に当館HPやお電話で御確認ください。



当館HP

